

# 『時事直言』 No.1471 2021年4月28日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[twitter 日本語] [t\\_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[twitter 英語] [T\\_Masuda\\_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng/)

[instagram] [t\\_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

## ニッケイ 4万円バブルは来るか！？

4月25日までデータと、その確認を続け、やっと26日に入稿した「小冊子」Vol.121は30日から発送出来るので連休中に是非とも勉強して頂きたい。

と言うのは、1989年12月29日(大納会日)につけた38,915円が象徴する昭和・平成バブルは、一体誰が何の為に起こしたのか、事実に基づいて解説しているからである。

4月27日の日銀政策決定会合後の記者会見で黒田総裁は、鳴り物入りで始めた異次元金融緩和が10年経っても2%の物価目標達成どころか、任期終了の2023年4月になっても1%という燦爛たる結果に終わる見通しであると述べて残念がった。

私は、日銀は基軸通貨ドルの自由裁量権を待つFRBの日本支社だと暴言を吐いたことがあるが、FRBが日本の物価2%を望めば明日にでも達成出来る。

黒田総裁は「実際に物価が上昇を経験すれば、人々の考えに物価が上がると言う意識が組み込まれていく」と述べ、これだけ時間をかけても目標が達成出来なかったことに責任を感じていたようだ。

日本の消費者に物価上昇を経験させてくれるのは、「本社FRBのパウエル議長であって支社長の黒田総裁ではない」。

実は日本の消費者が、実際に物価上昇を経験する時が近付いている。

アメリカ(FRB)の為に、日本に超大バブルを起こす準備が着々と進んでいるのである。

戦争に負けた日本が、今だにアメリカの属国であるのは残念に思うが、「負けて勝つ」ことも出来るのである。

実はアメリカの策に乗じて大儲けをする作戦について、機が熟す連休明け後の5月3週あたりから「増田塾」(インターネット国際政経塾)で解説することにした。

せっかくのお休みを無駄にすることなく、「小冊子」Vol.121を熟読されることをお勧めします。

★Youtube「増田俊男チャンネル」にて毎日動画配信中！

視聴方法:Google、Yahooなどから「増田俊男チャンネル」を検索して下さい。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダU.S.リサーチジャパン株式会社(FAX:03-3956-1313)までお知らせ下さい。